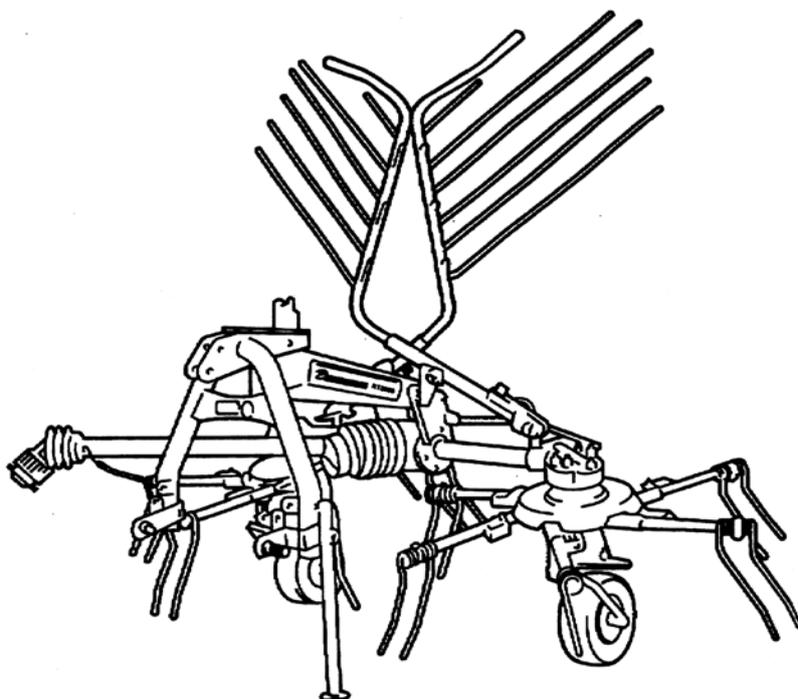


取扱説明書及び部品表

Takakita ローリッテック

RT2610



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ロータリテッダ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として、製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警告サイン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

 **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	14
各部の名称とはたらき	15
組 付 方 法	16
1. 梱包内容の確認	16
2. 工具の準備	16
3. 車輪の組付け	16
4. ロータフレームとメインフレームの組付け	16
5. スタンドの組付け	16
6. タインパイプ組付け	16
7. ギヤボックスにギヤオイルをいれます	17
8. 集草枠の組付け	17
トラクタへの装着	18
1. 3点リンケージへの装着のしかた	18
2. ユニバーサルジョイントの取付け	18
運転に必要な装着の取扱い	20
1. オフセットレバーの取扱い	20
2. タイヤの取扱い	20
3. タインの取扱い	21
4. 集草枠の取扱い	21
5. 安全ガードの取扱い	21
6. タインパイプの取扱い	21
作 業 方 法	22
1. 作業手順と要点	22
2. 移動するときは	23
3. 拡散・反転・集草列拡散作業	23
4. 集草・集草列移動作業	24
5. 畦際での拡散反転作業	26
6. 傾斜地での作業	27
作業前の点検について	28
1. 点検一覧表	28
簡単な手入れと処置	29
1. ボルトの増締め	29
2. タイヤの空気圧の調節、及び 摩耗、損傷	29
3. 各部への注油・グリスアップ	30
4. 長期格納時の手入れ	30
不 調 診 断	31
付 表	32
1. 主要諸元	32
2. 主な消耗部品	32

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

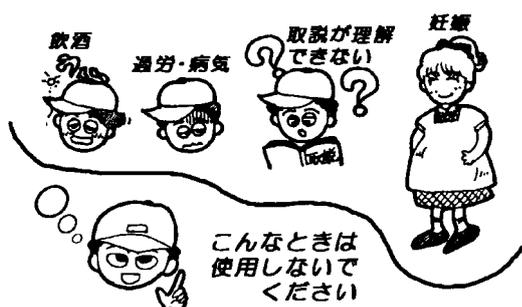
機械を人に貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

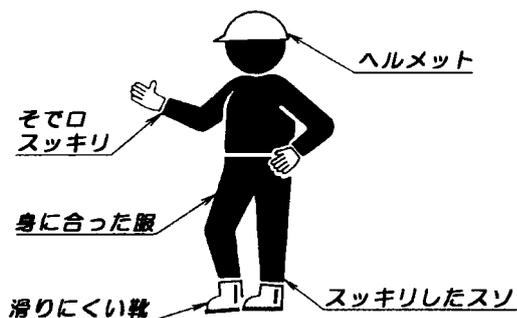
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ馬力

型 式	適用馬力 kW(ps)	装 着 方 法
RT2610	14.7~33.1 (20~45)	3点リンク直装式 (カテゴリO I 兼用)

● P T O回転速度：540min⁻¹(rpm)



(4) 装着時の前後のバランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウェイトを取付けて、20%以上を確保するか、できなければ装着しないでください。



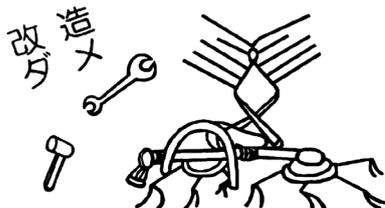
⚠ 安全に作業するために

(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けないでください。

(6) 機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けないでください。また、改造をしないでください。



(7) 使用目的以外への使用禁止

本機は稲ワラ、牧草、麦稈の反転、拡散集草作業を目的とした機械です。他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業できるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止し、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

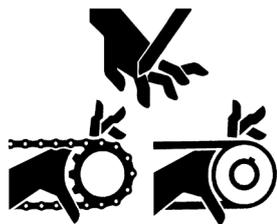
屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



⚠ 安全に作業するために

(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取り外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(7) 注油・給油するときは

PTOを切り、エンジンを停止し、回転部分が完全に止まってから行ってください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部およびチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

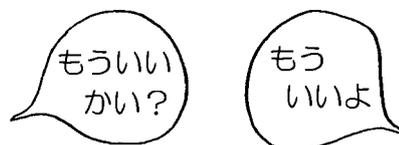


(2) PTO回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを始動するときは

PTOを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(5) 急な発進・停止・旋回・

スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起状の多いほ場や傾斜地は危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(6) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

- ① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず等高線に直角方向に走行してください。
- ② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

⚠ 安全に作業するために

(7) 回転中のユニバーサルジョイント

には触れない

回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。



(8) 回転中のロータには触れない

回転しているロータに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。

(9) 作業姿勢での移動禁止

作業姿勢のまま移動しますと、物損事故や人に重大な傷害を与える恐れがあります。移動する場合は、メインフレームをロックし、タイヤパイプを格納するとともに安全ガードの幅を狭めてください。また、集草枠は上に上げておいてください。

(10) 移動及び作業の旋回の際は

トラクタに本機を装着しての移動やほ場での旋回は、必ず3点リンケージでリフトアップしてから行ってください。急旋回は危険ですので行わないでください。

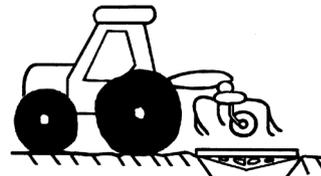
(11) スタンドを移動位置にする

移動するときは必ずスタンドを上げて走行してください。

(12) 溝や畦を横断したり

軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



(13) 作業途中で運転席より離れるときは

平坦な場所に降し、PTOを切り、エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛けてください。

4. 公道走行

(1) 公道走行するときは

保安基準を満たさない限り公道走行はできません。公道走行をする際は、5～11ページに示す項目を確認し、法令を遵守してください。

以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

公道走行するときは

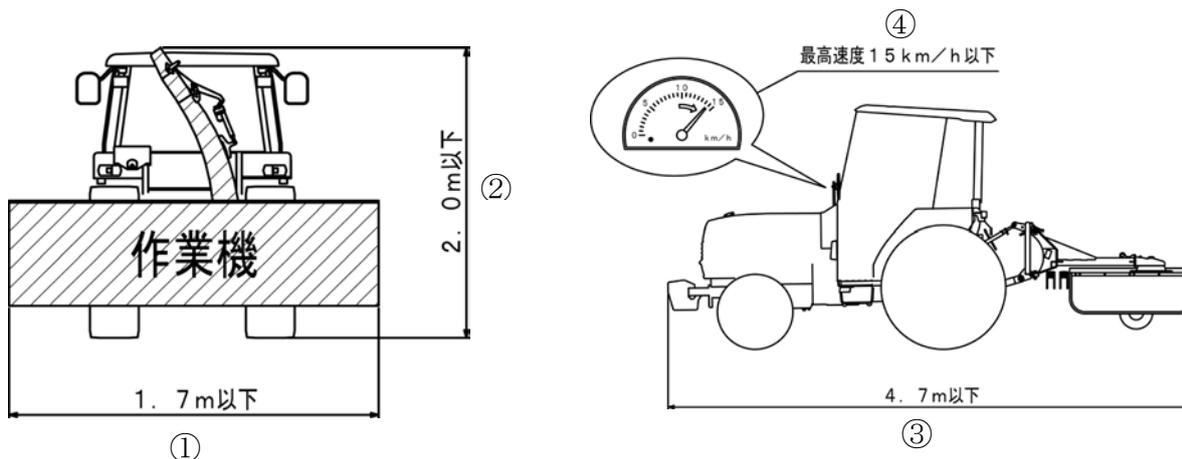
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、直装タイプの作業機で公道を走行することができます。公道走行をする際は、下記項目を確認したうえで必要な対応を行い、法令遵守して走行してください。

1. 必要な運転免許証について

トラクタ単体の場合、道路運送車両の技術基準(保安基準)の適合性を確保できる農耕トラクタであれば小型特殊免許/普通免許および大型特殊免許(農耕用に限るも、含む)で運行可能ですが、トラクタに作業機を装着した場合の寸法が下表①~④の数値をひとつでも上回る場合は、大型特殊免許(農耕用に限る、も含む)が必要となります。

- | | |
|----------|-------------------------------|
| ① 幅 1.7m | ② 全高2.0m (安全キャブや安全フレーム2.8m以下) |
| ③ 全長4.7m | ④ 最高速度15km/h以下 |

下図を参考にご確認ください。



2. 保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。

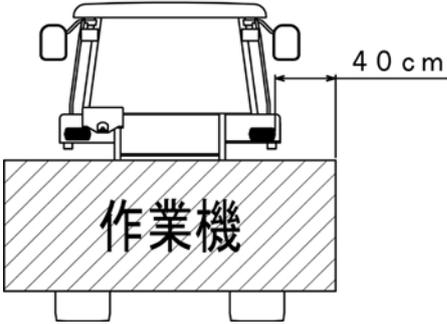
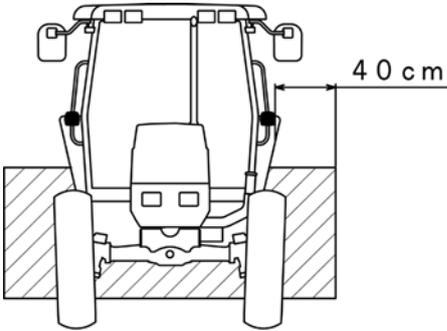
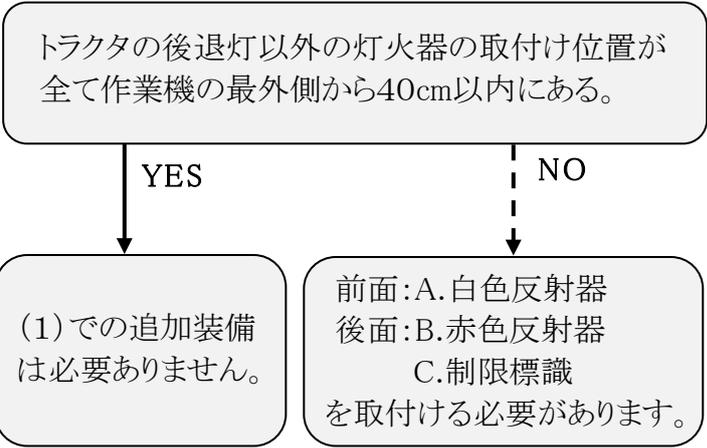
	農業用小型特殊自動車	農業用大型特殊自動車
トラクタに作業機を装着した時の寸法が、 全幅2.5m、全長12m、 全高3.8mを すべて超えない 場合	公示一括緩和を適用した車両として 申請や登録は必要ありません。	全国の運輸支局等で検査登録が必要です。
トラクタに作業機を装着した時の寸法が、 全幅2.5m、全長12m、 全高3.8mを いずれかを超える 場合	<ul style="list-style-type: none"> 全長12m、全高3.8mのいずれかを超える場合は、地方運輸局長に個別緩和を申請する必要があります。 道路管理者から特殊車両通行許可を得る必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査登録が必要です。 全長12m、全高3.8mのいずれかを超える場合は、地方運輸局長に個別緩和を申請する必要があります。 道路管理者から特殊車両通行許可を得る必要があります。

⚠ 安全に作業するために

3. 灯火器類・ステッカーの取付け

下記フローチャート(1)～(4)を全てそれぞれについてご確認ください、必要に応じて公道走行を行うための追加装備を取付けてください。

(1) 作業機最外側からトラクタの灯火器類までの距離

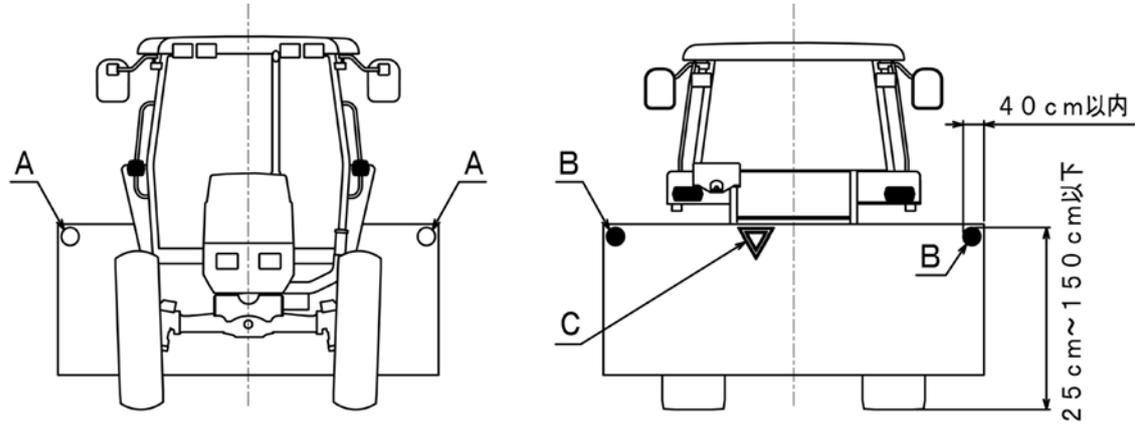


A. 白色反射器	B. 赤色反射器	C. 制限標識

装備の取付け位置

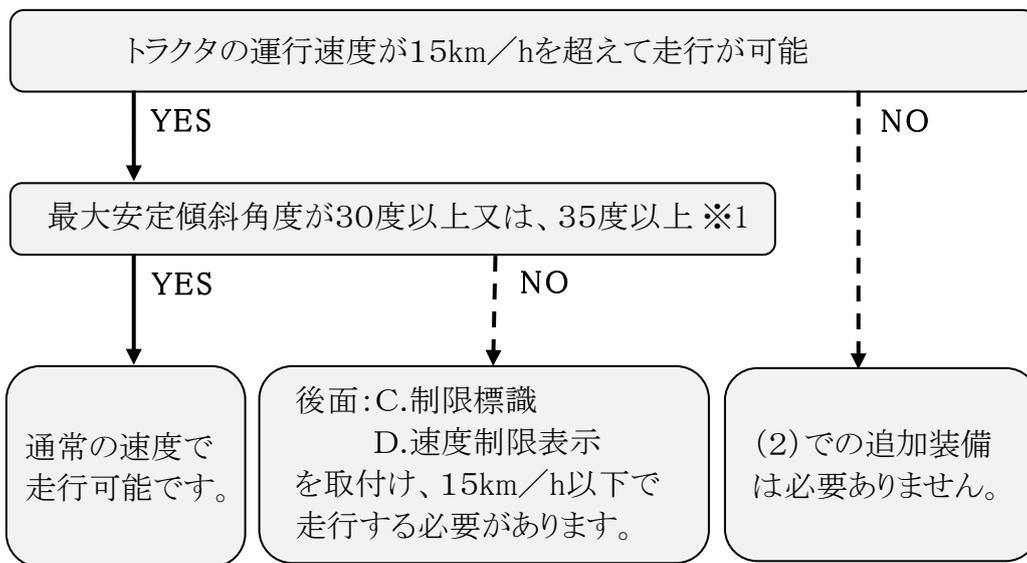
道路運送車両法の保安基準により、各種灯火器類取付け位置が定められています。A・Bについては前方・後方から見て、作業機最外側から40cm以内、高さが地上25cm以上150cm以下の場所に左右対称になるように取付けてください。Cは後方から確認できる位置に取付けてください。

(取付け例)



⚠ 安全に作業するために

(2) トラクタの運行速度



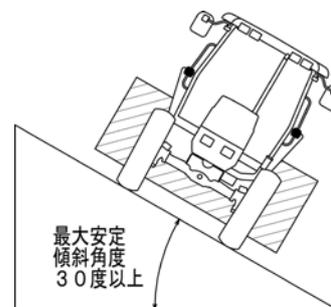
※1 運行速度が15km/hに制限されないトラクタと作業機との組合わせについては日農工のホームページ(<http://www.jfmma.or.jp>)をご覧ください。
最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km/h以下で走行してください。

<安定性に関して>

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上または、35度以上(車両総重量が車両重量の1.2倍以上または、積載により重心高さが上がるもの)であれば、通常ので速度で道路走行できます。

上記条件を満たさない場合は、

- ・ 運行速度15km/h以下での道路走行
- ・ 道路走行をする際に、Cを作業機に表示、Dを作業機・運転席に表示を行う必要があります。

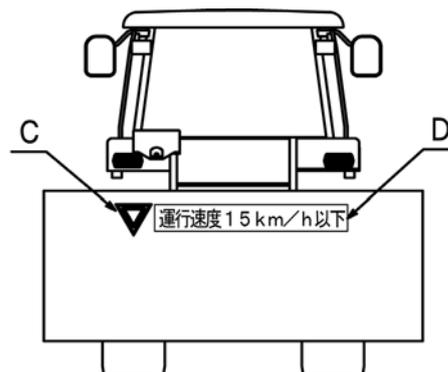


装備の取付け位置

C・Dは後方から確認できる位置に取付けてください。
Dは運転席にも表示する必要があります。

(取付け例)

C.制限標識	D.速度制限表示



⚠ 安全に作業するために

(3) トラクタのコンビネーションランプ（尾灯、制動灯、方向指示器）、後退灯の視認性

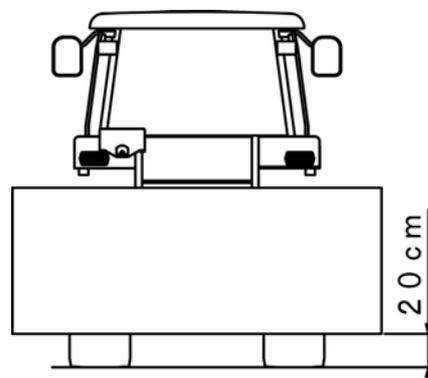
作業機の機体最下部を地面から約20cm上げた状態で後方から確認し、トラクタのコンビネーションランプと後退灯が視認できる。

YES

(3)での追加
装備は必要
ありません。

NO

・後退灯のみ視認できない場合は
可能な限りトラクタ上で移設してください。
・コンビネーションランプ、後退灯が視認
できない場合は作業機に取付ける必要
があります。
※取付けは販売店に相談してください。



装備の取付け位置

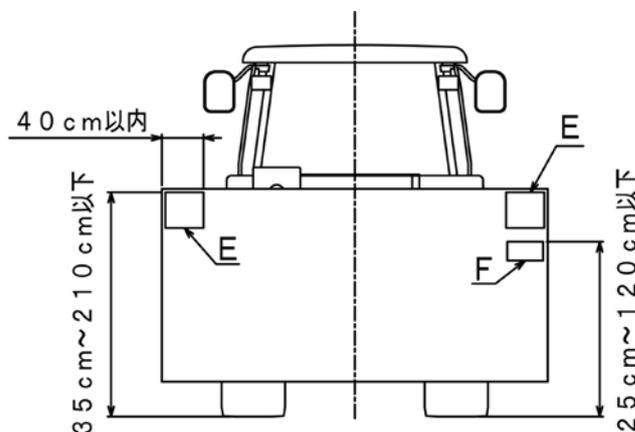
道路運送車両法の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置は定められています。

- ・尾灯（テールランプ） 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- ・制動灯（ブレーキランプ） 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- ・方向指示器（ウインカー） 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上230cm以下
- ・後退灯（バックランプ） 高さは可能な限り25cm以上120cm以下

コンビネーションランプは後方から確認（視認）できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。

後退灯は後方から確認（視認）できる位置に上記条件を満たすように取付けてください。

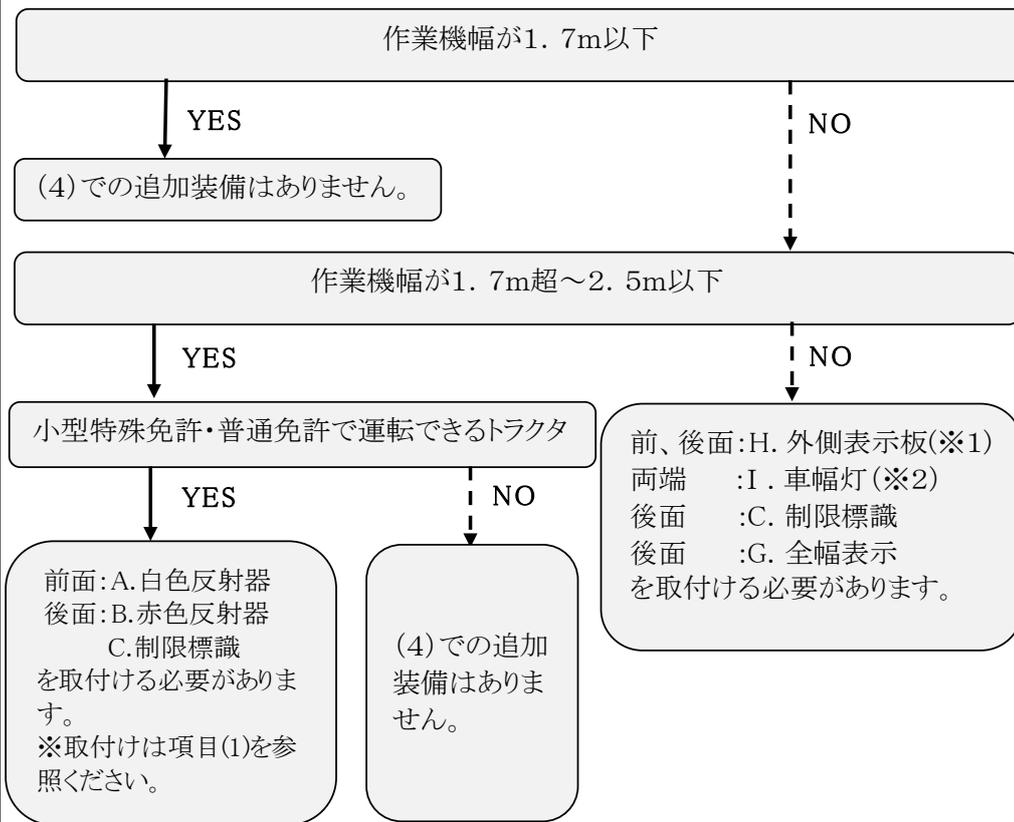
(取付け例)



※ トラクタから灯火装置の信号が出ているかを確認後に公道走行を行ってください。

⚠ 安全に作業するために

(4) 作業機装着時の全幅



※1 トラクタの灯火器類が作業機の最外側から40cm以上ある場合、反射器が必要になります。しかし、弊社の外側表示板は反射材を含んでいるため、反射器は取付け不要です。

※2 トラクタの灯火器類が作業機の最外側から40cm以内の場合、取付け不要です。

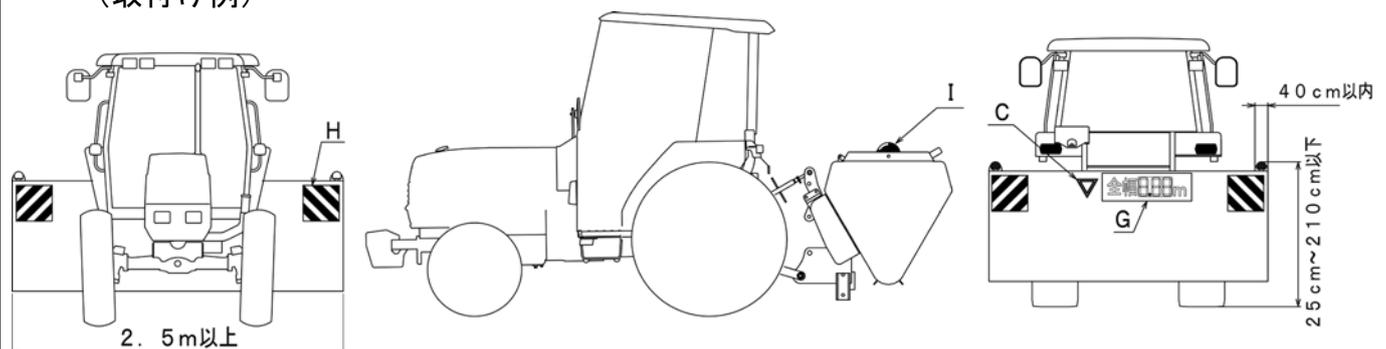
装備の取付け位置

C・Gは後方から見やすい位置に取付けてください。

Hは前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。

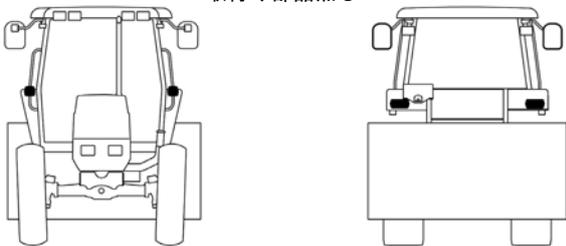
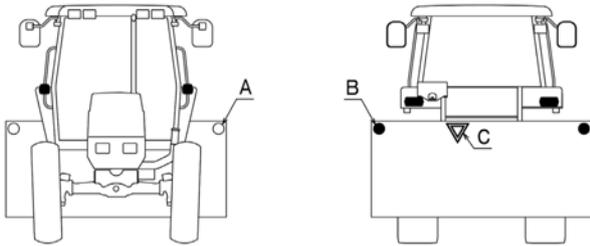
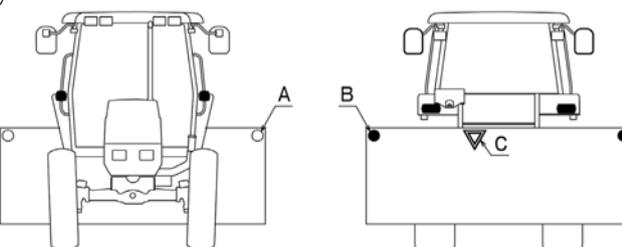
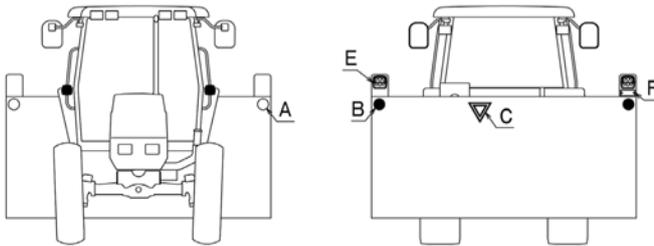
Iは後方から確認(視認)できる位置で、最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上210cm以下に入るように取付けてください。また前方が白、後方が赤になるようにしてください。

(取付け例)

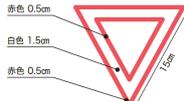


⚠ 安全に作業するために

灯火器類・ステッカー取付け例

灯火器類の視認性 前照灯 車幅灯 尾灯 後部反射器 制動灯 方向指示器	トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を視認できる場合	灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内の場合	① 取付け部品無し 
		灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内、かつ小型特殊免許・普通免許で走行できるトラクタで幅1.7m以上の作業機を取付ける場合	② 
		作業機の最外側から40cm以上離れている灯火器がある場合	③ 
		トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を視認できない場合	④ 例) ③に灯火器類を取付け 

灯火器・ステッカー

A. 白色反射器	B. 赤色反射器	C. 制限標識	D. 速度制限表示	E. コンビネーションランプ
				
F. 後退灯	G. 全幅表示	H. 外側表示板	I. 車幅灯	
				

⚠ 安全に作業するために

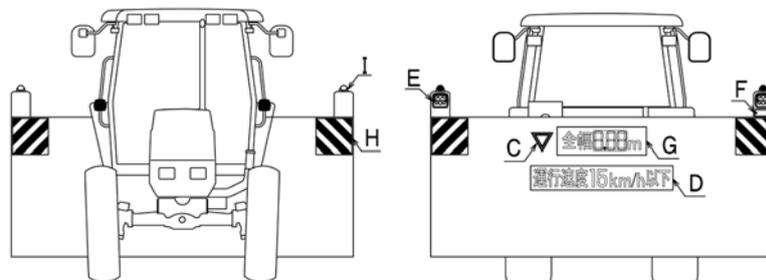
灯火器類・ステッカー取り付け例

灯火器類の視認性 前照灯 車幅灯 尾灯 後部反射器 制動灯 方向指示器	トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を視認できる場合	灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内の場合	⑤ トラクタに作業機装着時の全幅が2.5mを超える場合
	トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を視認できない場合	作業機の最外側から40cm以上離れている灯火器がある場合	⑥
	トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を視認できない場合	例) ⑥に灯火器類を取付け	⑦

※ 全幅2.5mを超過する場合は、道路管理者（国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村）から特殊車両通行許可を得る必要があります。

P.7 「(2)トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。

例) ⑦に速度制限表示を追加



詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>)をご覧ください。
 その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

⚠ 安全に作業するために

5. 輸送するときは

- (1) トラックなどへの積み込み・降ろしは平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。積み込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



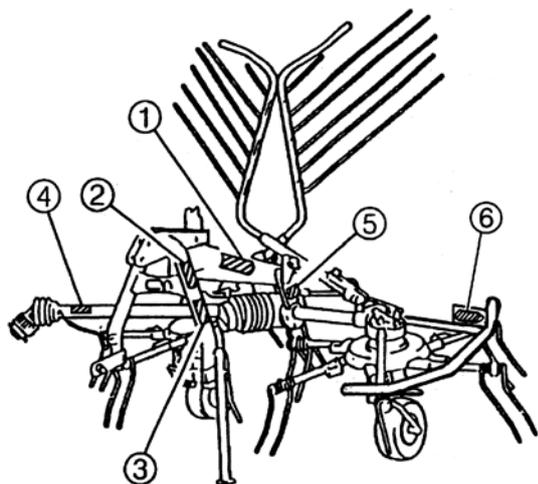
6. 注意

- (1) 各回転部分や摩擦しゅう動部分には十分注油またはグリスアップしてください。また、部品が摩耗したまま使い続けると摩擦による加熱の原因となり、場合によっては火災となります。

以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

7. 警告ラベルの貼付け位置



① 部品コード 001204501330

001204501330

⚠ 注意

1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟知するまでお読みください。	エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
2. 全部のラベルが所定部分に貼付けられているようにしてください。	6. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。
3. エンジン始動前に機械の周りに人がいないことを確認してください。	7. 点検・調整等はエンジンを止めて実施してください。
4. 作業中は人や動物を近づけないでください。	8. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないようにしてください。
5. 運転席を離れるときは、必ず	9. 保安基準を満たさない限り公道走行はできません。

②部品コード 001206000650

③部品コード 001206000580

④部品コード 001306951010

001206000650

⚠ 警告

回転中は接近しないで下さい。
触れると巻き込まれ重症を負うおそれがあります。

001206000580

⚠ 警告

回転中は接近するな。
石などが飛散してケガをするおそれがあります。

⚠ 危険

- 安全カバーを取り外して絶対に使用しないで下さい。
- ドライブシャフト回転中触れたり近づかないで下さい。
- 巻き込まれて、死傷する危険があります。
- 使用前に必ず取扱説明書を、読んでから作業をして下さい。

MATSUBI WALTERSEID

⑤部品コード 001206000610

⑥部品コード 001104100010

001206000610

⚠ 警告

巻き込まれてケガをする恐れがあるので回転中は近づかないでください。
カバーは、常に装着してください。



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、剥がれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し、新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

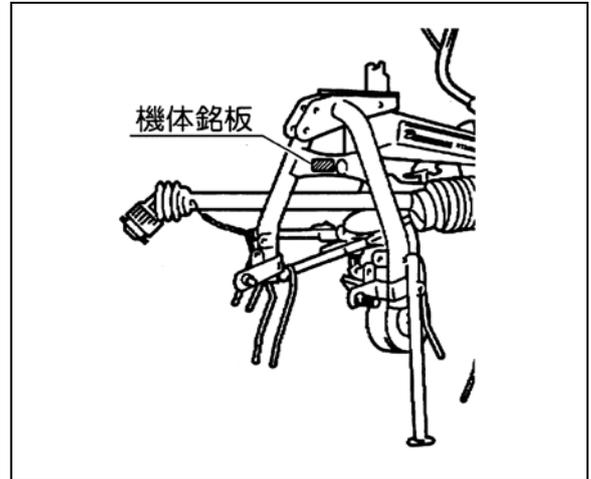
本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈の反転、拡散集草作業にご使用ください。
 使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
 使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、J A (農協)、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品名	ロータリテッダ		
型式	RT2610		
機体 No. (SER-No.)			
購入年月日	年	月	日
販売店名	TEL : _____ () _____		

各部の名称とはたらき

●メインフレーム

マストとロータフレームをつないでいるフレーム

●オフセットレバー

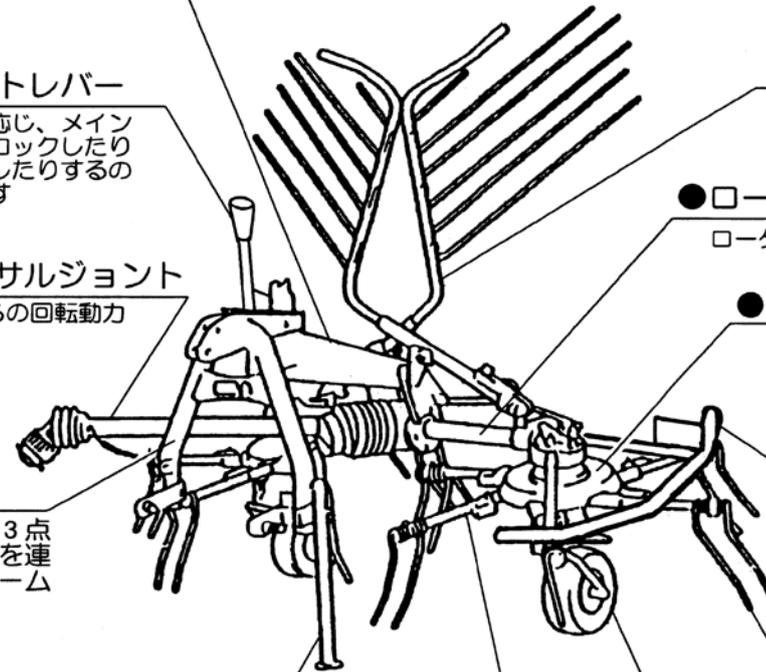
作業内容に応じ、メインフレームをロックしたりオフセットしたりするのに使います

●ユニバーサルジョイント

トラクタからの回転動力を伝えます

●マスト

トラクタの3点リンケージを連結するフレーム



●スタンド

保管時に本機の支持に使います

●ティンパイプ

ティンを取付けるパイプ

●集草棒

牧草などの集草時に使います

●ロータフレーム

ロータを支えます

●ロータ

ティンパイプを支持します

●安全ガード

人や器物が、ロータに巻き込まれるのを防止します

●ティン

牧草などの反転・拡散・集草をします

●タイヤ

本機を支えます

組付方法

1. 梱包内容の確認

機体は、下記内容に分類して梱包しています。

梱包は開けたときに確認してください。

	RT2610
3Pマスト	1個
ロータフレーム	1個
ティンパイプ	左右 各6個
集草レーキ	左右 各1個
車輪	左右 各1個
スタンド	1個
ユニバーサルジョイント	1個
ビニール袋入部品	1袋

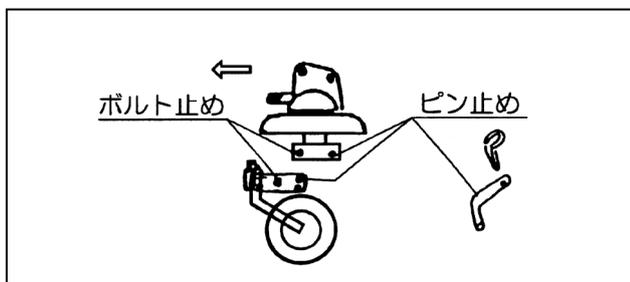
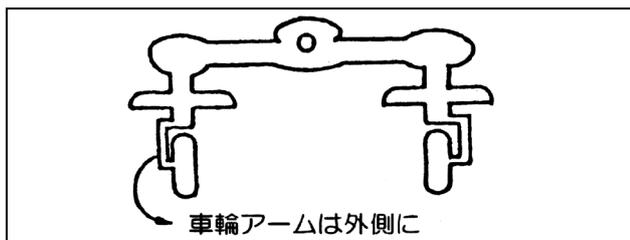
2. 工具の準備

組付時に次の工具を準備してください。

- 24mmスパナ
(またはメガネボックスレンチ)
- 19mmスパナ
(またはメガネボックスレンチ)

3. 車輪の組付け

車輪を組付ける場合、次図のようにアームは外側に組付けてください。

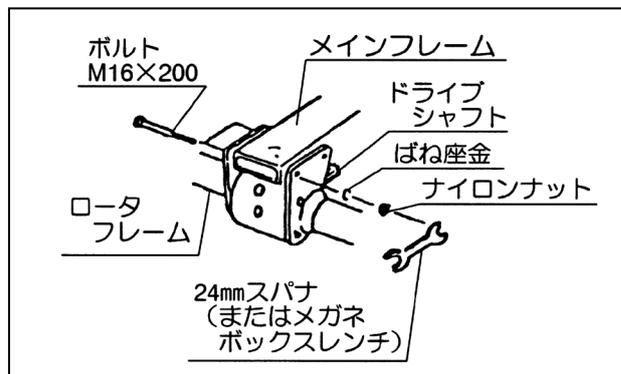


上図のように支点部はボルト締めおよび調節穴部はピン止めで固定してください。

4. ロータフレームとメインフレーム

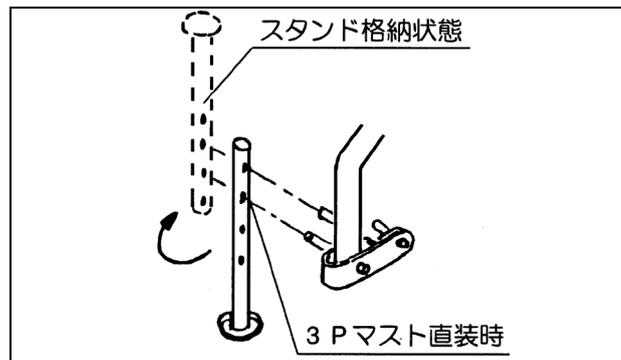
の組付け

ロータフレームとメインフレームをボルトとナイロンナットで組付けします。



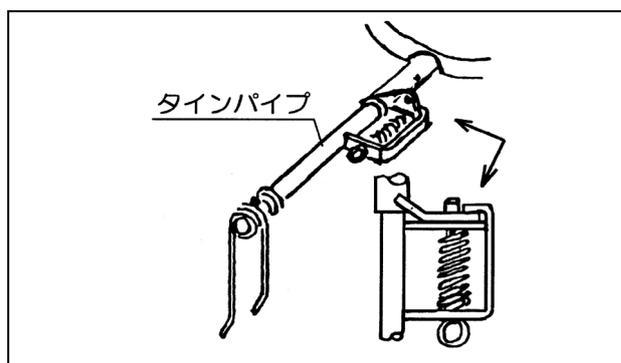
5. スタンドの取付け

マストにスタンドを取り付けます。



6. タインパイプ取付け

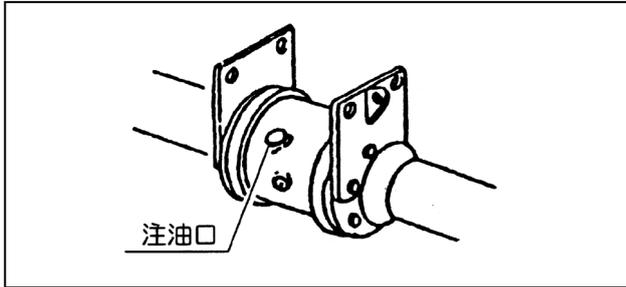
左右のロータにティンパイプを組付けてください。



組 付 方 法

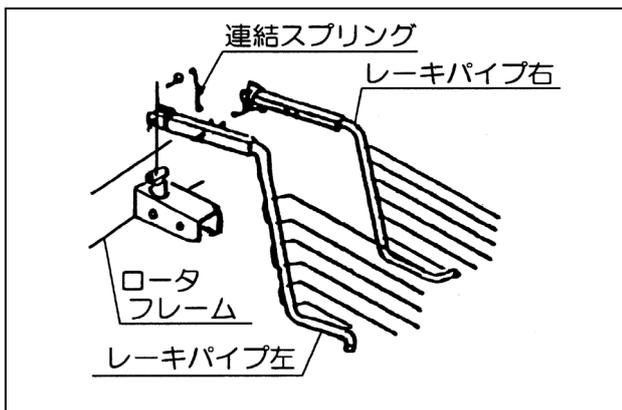
7. ギヤボックスにギヤオイルを入れます

ギヤオイル(SAE90)をギヤボックスに0.8L
入れます。



8. 集草枠の組付け

ロータフレームに集草枠(レーキパイプ左右)
を組付け、連結スプリングをギヤボックス
両側のピンとレーキパイプのピンに連結
してください。



トラクタへの装着

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着は、リンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止し、PTOを切ってから確実に取り付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生のおそれがあります。

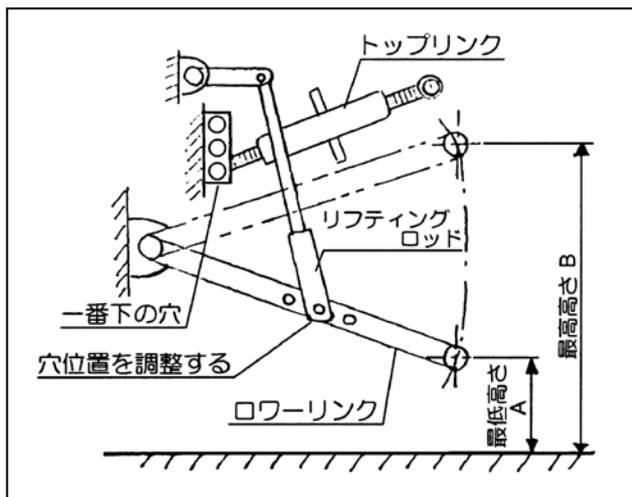
1. 3点リンケージへの装着のしかた

◆3点リンケージの調整

トップリンクのトラクタ取り付け位置は、トップリンクに最も角度がつくように一番下の穴としてください。

次にリフティングロッドを調整して、ローリンクの最低高さ、最高高さを次表のように調整してください。

ローリンク高さ	最低高さA	36cm以下
	最高高さB	74cm以上

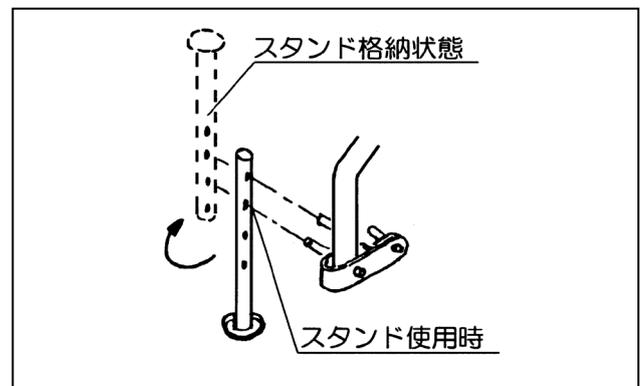


◆3点リンケージの装着順序

左ローリンク、右のローリンク、トップリンクの順序で取り付けてください。

◆スタンドを格納してください。

3点リンケージの取り付けが終わりましたら、次図のようにスタンドを格納してください。



◆トップリンクの長さ調整

トラクタローリンクを一番下げた状態で本機最前部のタイン先端と地面の隙間が約2cmになるように調整してください。

(詳細はP.23を参照してください。)

◆チェックチェーンで横振れ調整

運搬および作業時は、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心にローリンクが左右に2~3cm程度の振れになるように調整してください。

2. ユニバーサルジョイントの取付け

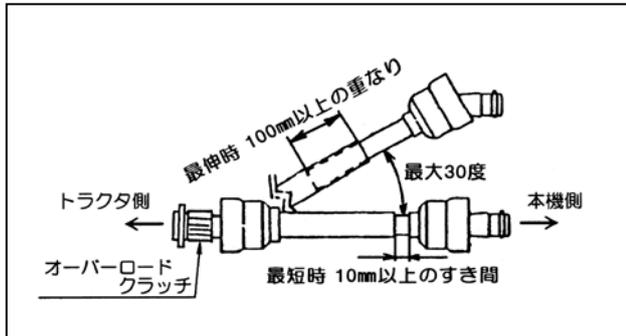
◆ユニバーサルジョイントの取り付け順序

本機入力軸に取り付けてから、トラクタPTO軸に確実に取り付けてください。

トラクタへの装着

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。先にジョイントの長さを確認し、長すぎるときは、次図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

また、作業時のジョイント角度は最大30度を超えないように調整してください。30度を超えると、ジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

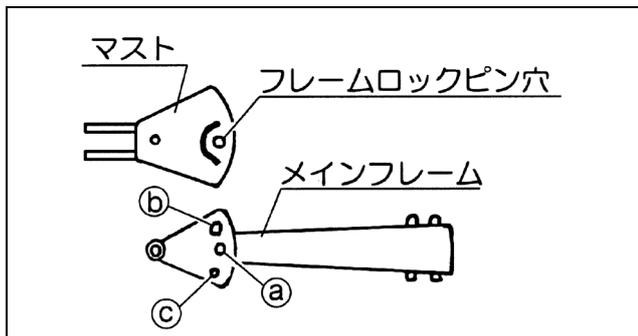
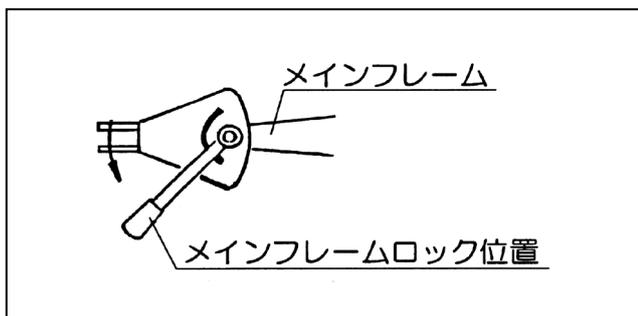
運転に必要な装置の取扱い

1. オフセットレバーの取扱い

- 作業または運搬時に、このレバー操作によりメインフレームをフリーにしたり、ロックしたりします。
- この作業は、本機を持ち上げてから行います。

◆運搬時の位置

運搬時はメインフレームが動かないようにロックします。ロック位置は ㉔あるいは ㉕の穴としてください。

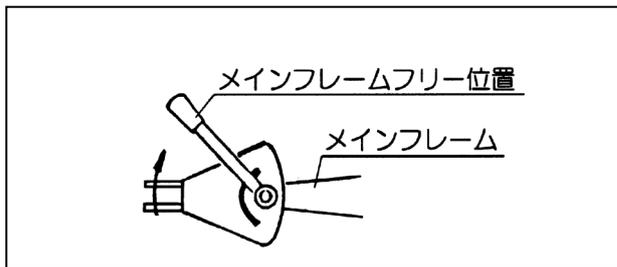


警告

移動時は、必ずメインフレームをロックしてください。
守らないと機体が急に左右に振れ、トラクタのハンドルがとられるおそれがあり危険です。

◆拡散・反転・集草作業時の位置

作業時はメインフレームがフリーに動く状態にします。



注意

作業時、ロックは必ず解除してください。ロックしたまま作業すると、旋回時などにタイヤに無理がかかり、足まわりが破損するおそれがあります。
また、マストやフレームにも損傷がおよぶおそれがあります。

2. タイヤの取扱い

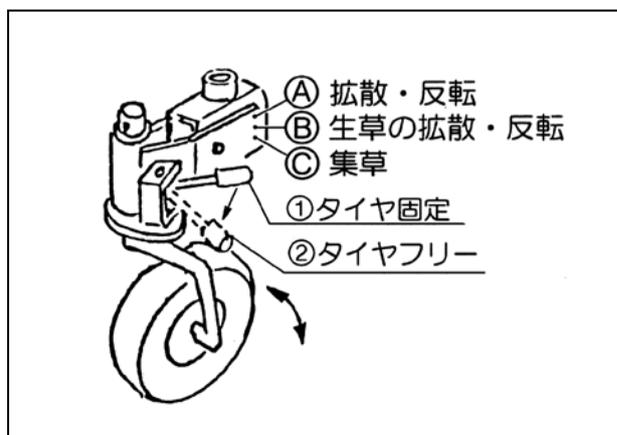
◆拡散・反転作業時

タイヤの高さを ㉔または ㉕の位置で固定し、タイヤは固定にします。

㉔は牧草等がある程度乾燥してから使用し、㉕は生草の時に使用します。

◆集草作業時

タイヤの高さを ㉖の位置で固定し、タイヤは固定にします。



運転に必要な装置の取扱い

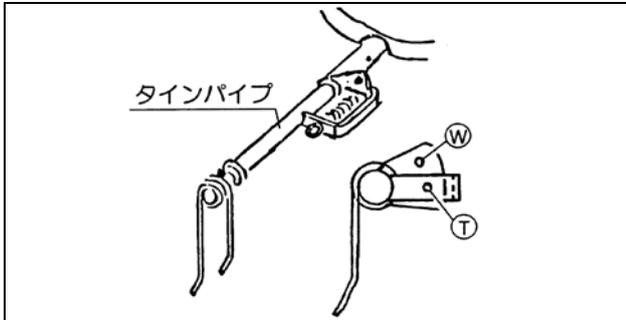
3. タインの取扱い

◆拡散・反転作業時

次図 ㊸ の位置で固定します。

◆集草作業時

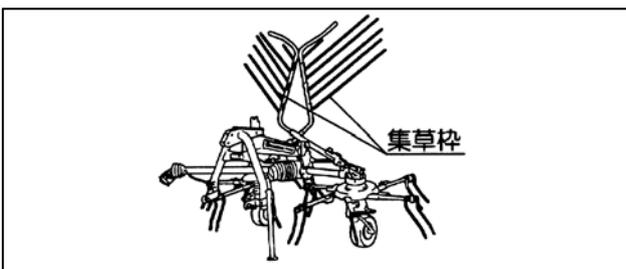
次図 ㊹ の位置で固定します。



4. 集草枠の取扱い

◆運搬・拡散・反転時の位置

次図のように集草枠を上げてください。



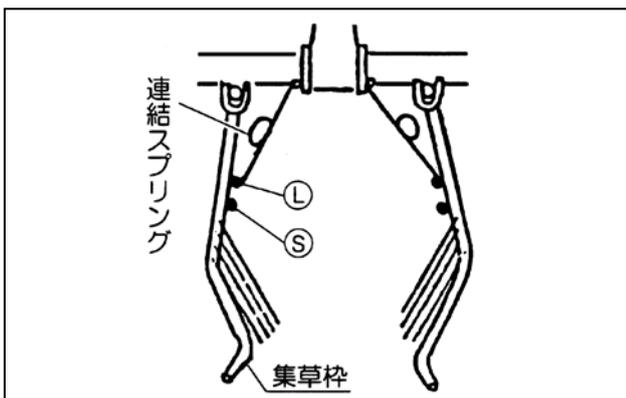
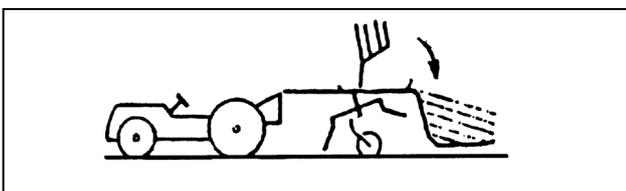
◆集草時の位置

次図のように下げてください。

集草幅の調整は2種類です。

㊺ : 集草幅 約70cm

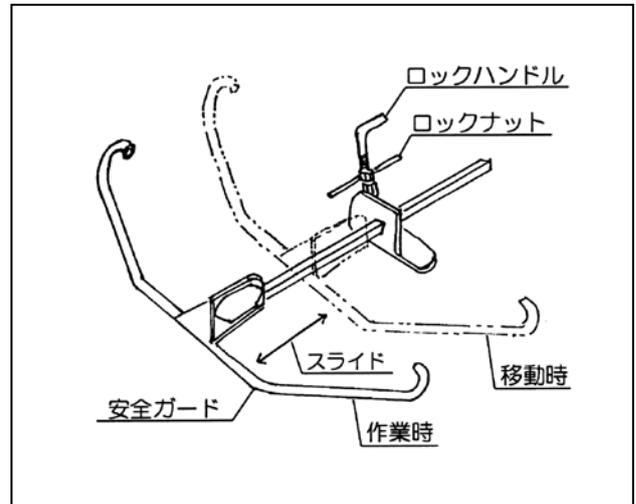
㊻ : 集草幅 約95cm



5. 安全ガードの取扱い

◆移動時・作業時の位置

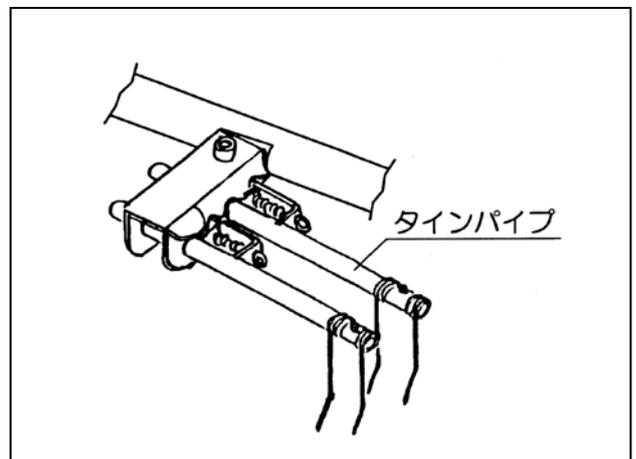
次図のように移動時と作業時で調整してください。



6. タインパイプの取扱い

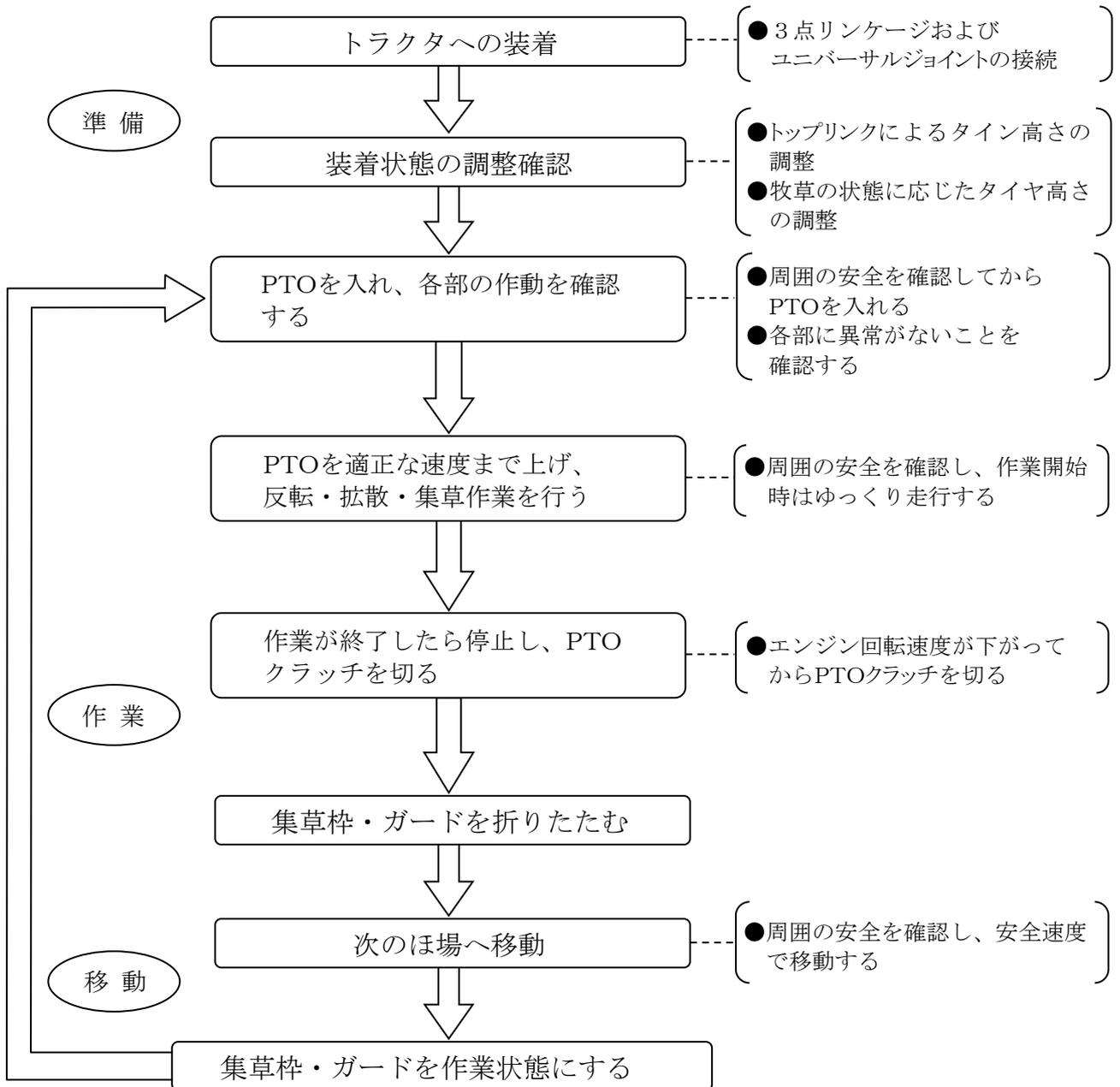
運搬時は左右のロータのタインパイプを各2本ずつ取外し作業機の幅を狭めてください。

格納は、次図の位置に格納してください。



作業方法

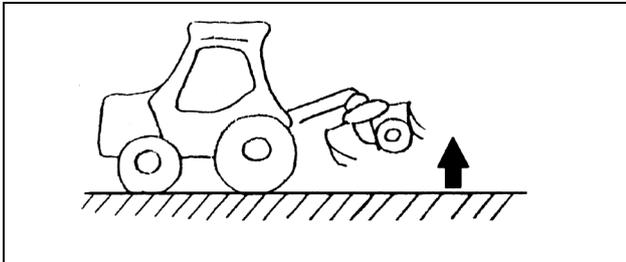
1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するとき

移動するときは、必ず集草枠および安全ガードを収納し、外側のタインパイプを格納するとともに、メインフレームをロックしてから、十分な高さまで3点リンケージで吊り上げて走行してください。



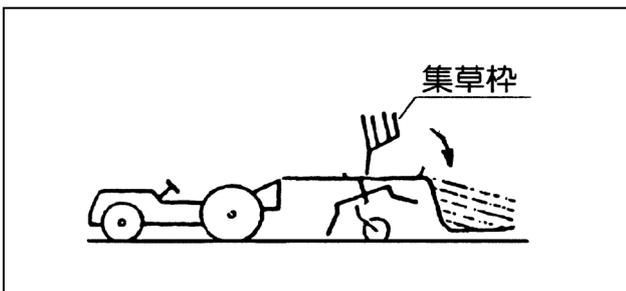
警告

- ①移動するときは、必ず集草枠および安全ガードを収納し、外側のタインパイプを格納するとともに、メインフレームをロックしてください。
- ②本機を装着しての運転は、まわりの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ③カーブを曲がる時は、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。
作業姿勢のまま移動すると、人に重大な障害を加えたり、物損事故を起こすおそれがあります。

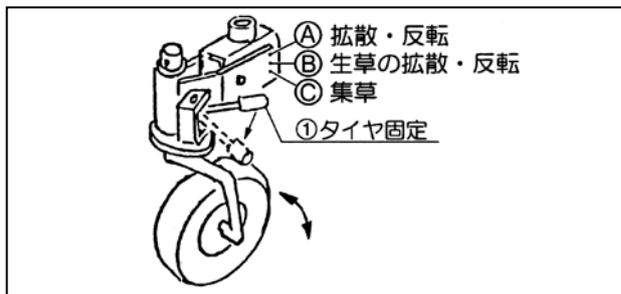
3. 拡散・反転・集草列拡散作業

◆調整方法

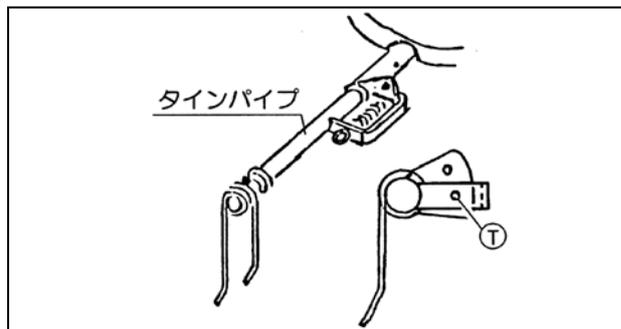
- ①集草枠を上方に持ち上げるか、または取り外してください。



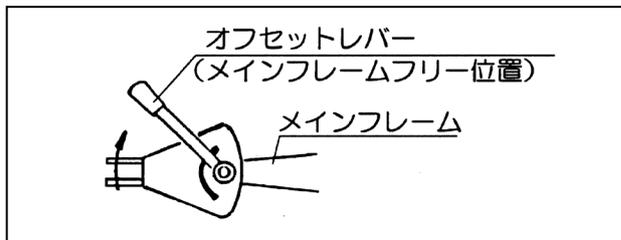
- ②車輪の高さを ④または ⑥位置にピンで固定してください。
レバーを①の位置に移動させ、タイヤを固定してください。



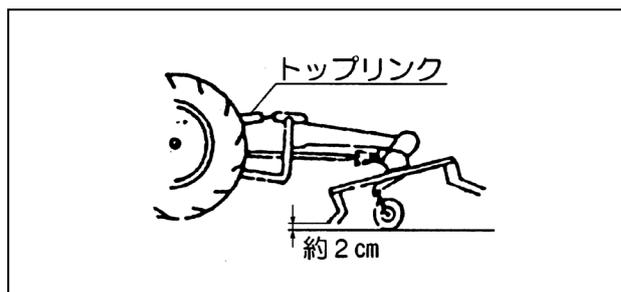
- ③タインパイプのセットピンを ①位置で固定してください。



- ④オフセットレバーを次図の位置にして、メインフレームをフリーにしてください。



- ⑤トラクタの油圧をフリーにした状態で、本機最前部のタイン先端と地面の隙間が約2cmになるようにトップリンクの長さを調整してください。



作業方法

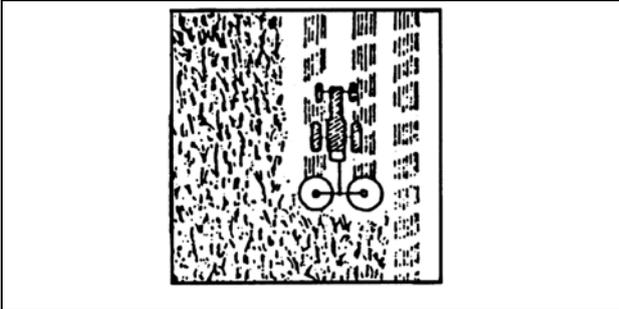
注意

タインを下げすぎると、土や石をかきタインの不必要な摩耗や破損の原因となります。

◆作業の種類

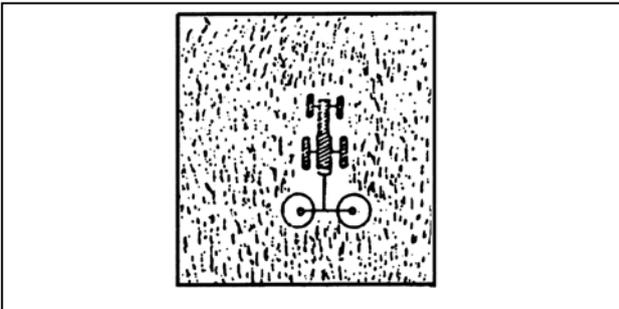
①拡散作業

モータで刈り取った牧草を散らし、乾燥を促進します。



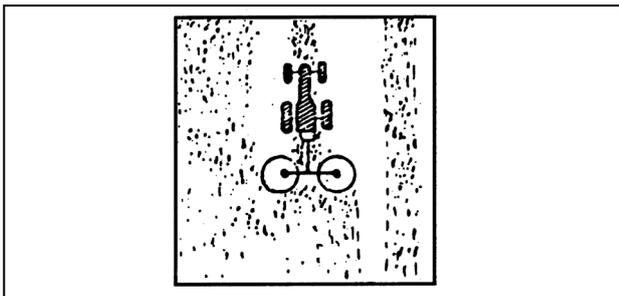
②反転作業

地干しされた牧草の上下をひっくり返し乾燥を早めます。日に2～3回行いますと日光や風の通りがよくなり、乾燥時間が短縮されます。



③集草列拡散

降雨や湿気防止などのために集草列にしたものを散らし、乾燥を早めます。



◆作業速度とPTO回転速度

作業速度とPTO回転速度は、牧草の水分・密度・長さ・ほ場状態によって異なります。

標準は、作業速度：8～10km/時

PTO回転速度：450～500min⁻¹(rpm)

注意

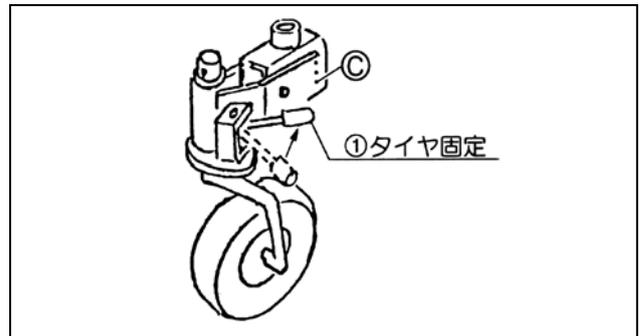
ユニバーサルジョイントのオーバーロードクラッチが滑るとき(草量が多い、草が重いなどによる)は、滑りが止まるまで車速を下げてください。

4. 集草・集草列移動作業

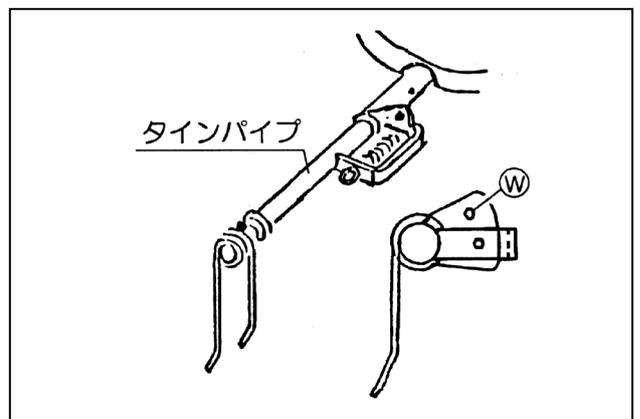
◆調整方法

①車輪の高さをC位置にピンで固定してください。

レバーを①位置に移動させ、タイヤを固定してください。

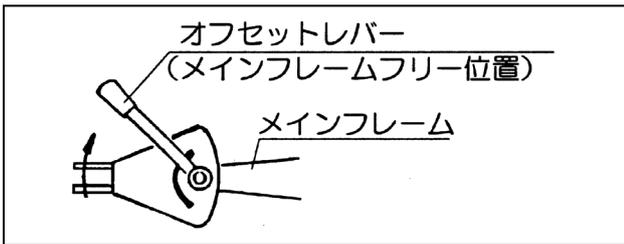


②タインパイプのセットピンをW位置で固定してください。

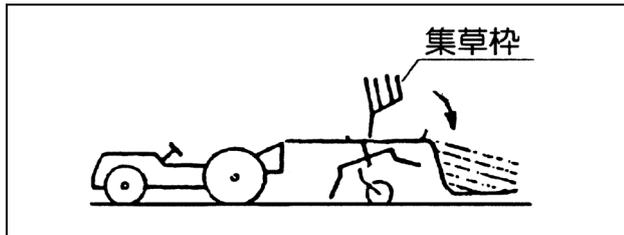


作業方法

- ③ オフセットレバーを次図の位置にして、メインフレームをフリーにしてください。



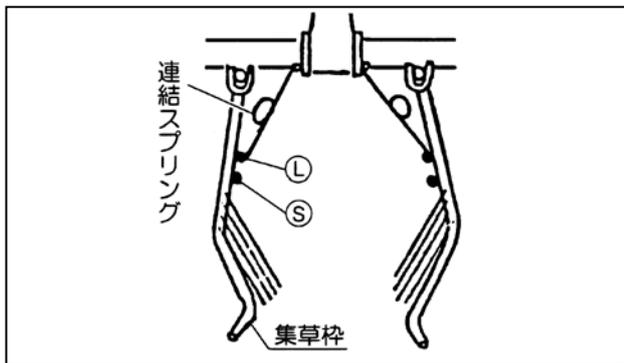
- ④ 集草枠を下げてください。



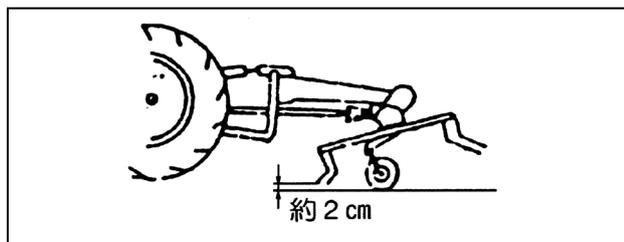
- ⑤ 集草幅の調整を行ってください。

⑤ 集草幅 約70cm

① 集草幅 約95cm



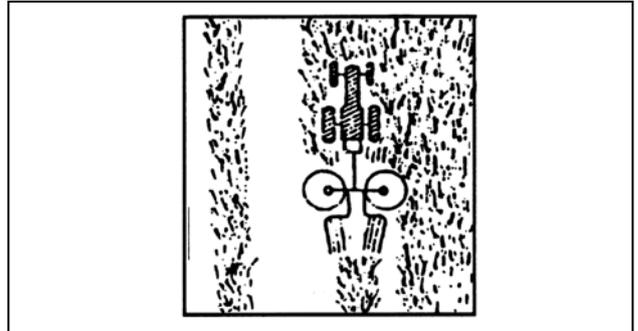
- ⑥ トラクタの油圧をフリーにした状態で、本機最前部のティン先端と地面の隙間が約2cmになるようにトップリンク長さを調整してください。



◆作業の種類

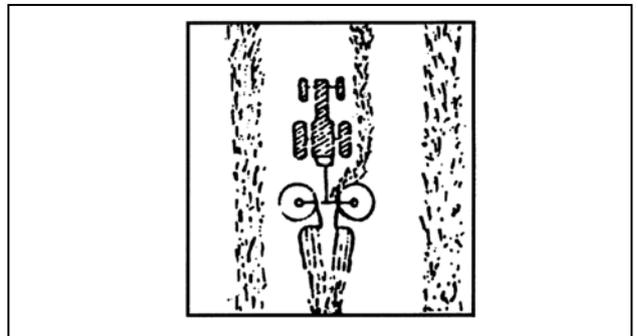
① 集草作業

拡散、または反転した牧草を列状に集草します。集草された牧草は縄状にならず、ふんわりとしているため、ベアラやロードワゴン等による、後作業がしやすくなります。



② 集草列移動作業

集草列を移動すると、乾いた土地の上に牧草を置くことになり、また集草列の上下が入れ替わりますので、牧草の乾燥効果が高くなります。



◆作業速度とPTO回転速度

作業速度をPTO回転速度は牧草の水分・密度・長さ・ほ場状態によって異なります。

標準は、作業速度：5～7km/時

PTO回転速度：300～350min⁻¹(rpm)

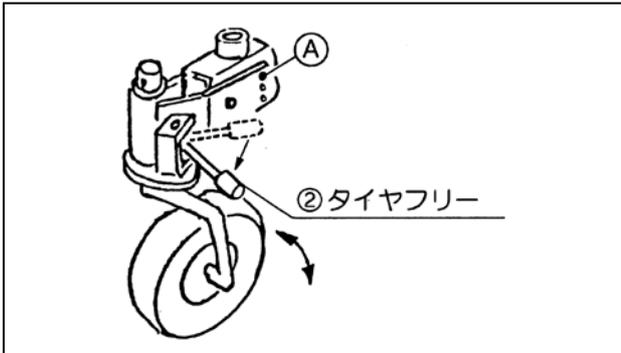
作業方法

5. 畦際での拡散反転作業

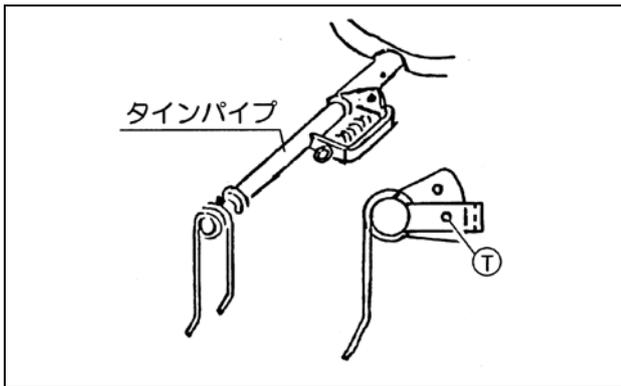
◆調整方法

①車輪の高さを ④位置にピンで固定してください。

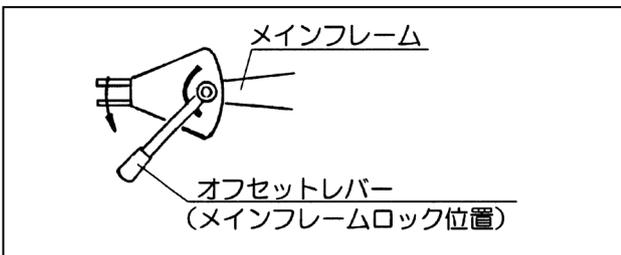
レバーを②位置に移動させ、タイヤをフリーにしてください。



②タインパイプのセットピンを ①位置で固定してください。



③オフセットレバーを次図の位置にして、メインフレームをロックしてください。

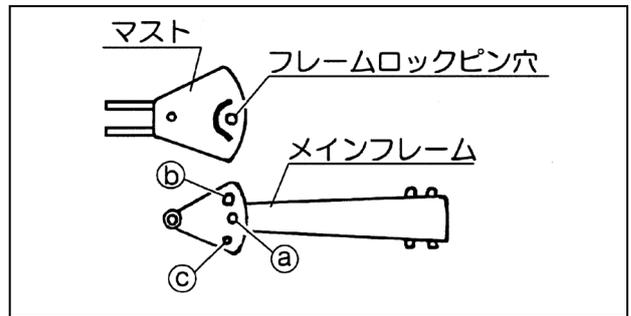


●フレームのロック位置は

左際作業時 ⑥穴

右際作業時 ⑦穴

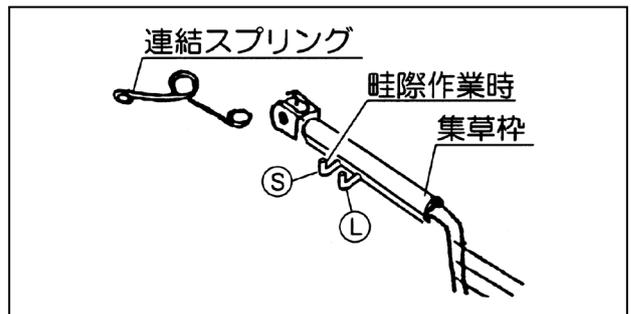
を使用してください。(次図参照)



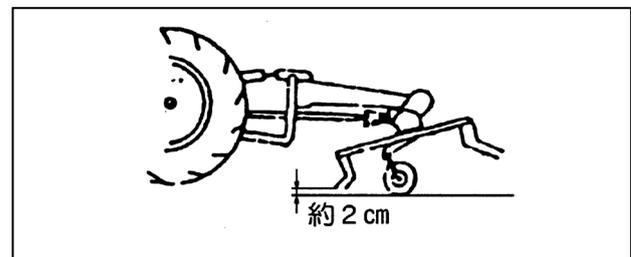
④集草枠を降ろしてください。

畦作業の場合、集草枠の片側を使用することによりその効果が増大します。

次図のピン ⑤に連結スプリングをセットしてください。



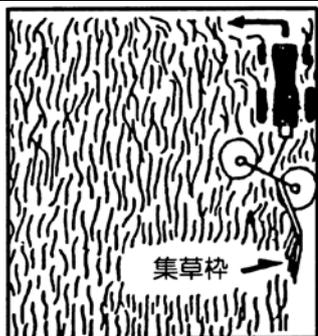
⑤トラクタの油圧をフリーにした状態で本機最前部のタイン先端と地面の隙間が約2cmになるように、トップリンク長さを調整してください。



作業方法

◆畦際作業

ほ場の外周、または枕地の拡散・反転作業を行う場合は、本機をオフセットすることで、ほ場外への牧草の飛散を防ぎます。(集草碎片側使用により効果が増大)



本図は右際作業時を示します。

◆作業速度とPTO回転速度

ほ場内に牧草を寄せるときは、車速、PTO回転速度を低速にしてください。

⚠ 警告

- ①作業中は、周囲に人や動物を近づけないでください。
石などがタイヤで飛ばされ、人に当たるおそれがあり、大変危険です。
- ②PTO回転中は、ロータには近づかないでください。
触れると巻き込まれるおそれがあり、大変危険です。

これらを守らないと、死亡あるいは重大な傷害発生のおそれがあります。

6. 傾斜地での作業

傾斜地において、拡散・反転作業あるいは集草作業時、作業機が谷側に流れる場合はメインフレームを固定し、タイヤをフリーとして作業してください。

◆必ず、直角走行・急ハンドル禁止

斜面に対して直角方向に走行し、旋回は速度を落として急ハンドルを切らないで旋回してください。

⚠ 警告

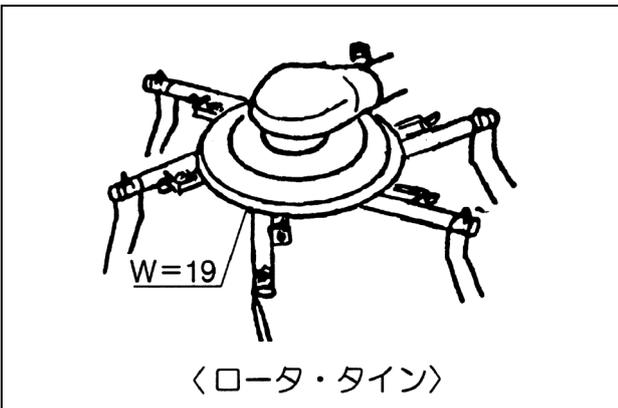
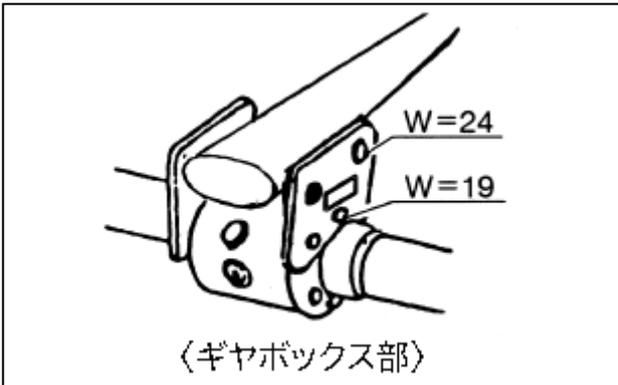
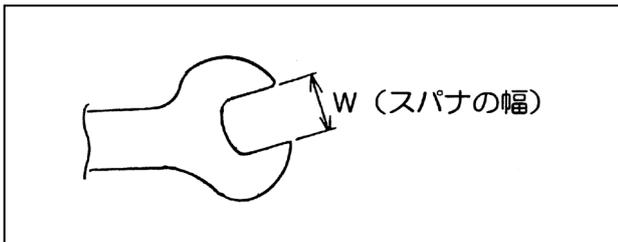
斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので決して行わないでください。

簡単な手入れと処置

警告

- ①各部の調整をするときは、PTOを切りエンジンを停止して、回転部が完全に止まってから行ってください。
- ②取り外したカバー類には必ず取り付けてください。

1. ボルト増締め



2. タイヤの空気圧の調節、及び摩耗、損傷

◆作業前にはタイヤの空気圧を確認してください

警告

●タイヤの空気圧は取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。

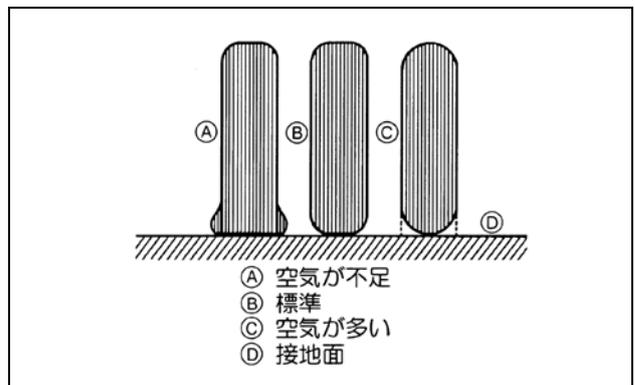
空気の入れ過ぎは、タイヤ破損のおそれがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。

●タイヤに傷があり、その傷がコード(糸)に達している場合は、使用しないでください。

タイヤ破損のおそれがあります。

●タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは、十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店で依頼してください。

外観からタイヤの空気圧を判断する目安は次の通りです。



◆本機に装着しているタイヤの
サイズと規定空気圧

タイヤサイズ

13×6.00-6-4PR

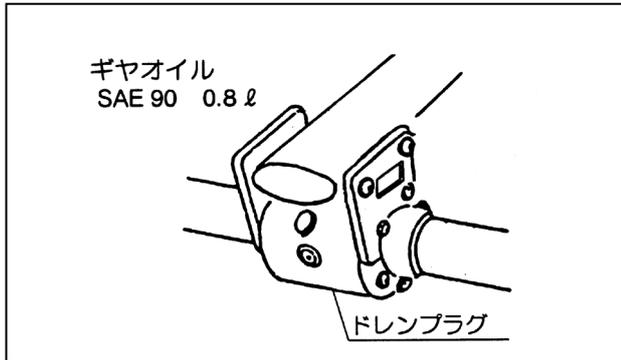
空気圧

2.2kg/cm²以下

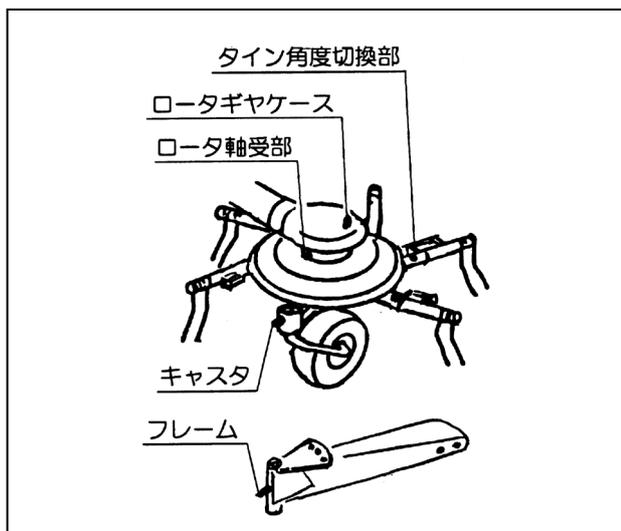
簡単な手入れと処置

3. 各部への注油・グリスアップ

- ギヤボックスのオイルは、100時間ごとに全量を交換してください。



- グリスアップは左右のロータの図示された部分19箇所とユニバーサルジョイント2箇所の合計21箇所注入してください。



⚠ 注意

各回転部分や摩擦摺動部分には十分注油してください。

また、部品が摩耗したまま使い続けると、摩擦による加熱の原因となり、場合によっては火災となります。

4. 長期格納時の手入れ

作業が終了したら、次期の使用時に備えかつ、末長くご利用いただくためにも十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した泥やほこりなどを落とし、巻き付いた草などを取り除いてください。
- 乾燥後は、各回転部、摺動部には十分注油し、錆びないようにしてください。
- 塗装の剥がれた部分には、補修塗料を塗り、錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいる時は締めてください。
- 各部の点検を行い、不調部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な所で保管してください。

不調診断

不調内容	診断	処置	参照ページ
●ユニバーサルジョイントのクラッチが頻繁に作動する	●草量が多い、あるいは草が重い	●車速を下げる	24
●ロータが地面の凹凸に追従しない	●メインフレームがロックされている	●作業中はメインフレームのロックを解除し、フリーにする	20 23 24 25
●反転・拡散時、草の飛びが悪い	●草量が多い	●車速を下げる	24
	●PTO回転速度が低い	●PTO回転速度を上げる ※ただし、乾燥が進んでいるときは損失が増えるため400～500min ⁻¹ (rpm)までとする	24
	●タイヤおよびトップリンクの調整が適正でない	●タイヤおよびトップリンクの調整を反転・拡散時に合わせる	20 26
●集草状態がよくない	●PTO回転速度と車速があってない	●PTO回転速度と車速を合わせる	25
	●PTO回転速度が高すぎる	●PTO回転速度300～350 min ⁻¹ (rpm)に合わせる	25

付 表

1. 主要諸元

品 名	ロータリテッダ	
型 式	RT2610	
装 着 方 法	3点リンク直装式(カテゴリO I)	
駆 動 方 法	トラクタPTO駆動	
機 体 寸 法	全 長 (mm)	2530(集草時)
	全 幅 (mm)	2700
	全 高 (mm)	1310
質 量 (kg)	210	
作 業 幅 (mm)	2600	
作 業 速 度 (km/h)	反転・拡散	8~10
	集草	5~7
作 業 能 率 (分/10a)	3~8	
タ イ ヤ サ イ ズ	13×6.00-6 4PR	
適 応 馬 力 (kW{ps})	14.7~33.1 (20~45)	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

部 品 名 称	部 品 コ ー ド	備 考
ヒダリタイン	27101 4551 000	
ミギタイン	27101 4651 000	